

# エクストリーム-D が同社のスーパーコンピューター シェアリングサービス向け新インスタンスの サービスを開始

**新インスタンス (G3) はレノボ製サーバーを NVIDIA 製 InfiniBand  
機器で接続し、MC デジタル・リアルティの最新鋭データセンターに設置**

エクストリーム-D株式会社

2020年6月22日

エクストリーム-D 株式会社（本社:東京都品川区 代表取締役 柴田直樹、以下、エクストリーム-D）は、同社開発のベアメタル（物理サーバーによるサービス）スーパーコンピューターシェアリングサービス AXXE-L by XTREME-D（旧製品名：XTREME-Stargate、以下 AXXE-L）向けに新インスタンス (G3:第3世代モデル、以下 G3) のサービスを開始したことを発表しました。

エクストリーム-D は、これまでに MC デジタル・リアルティ株式会社（米デジタル・リアルティ社と三菱商事株式会社の合併会社）、レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ合同会社など、今後の事業展開でキーとなる企業と提携を行っております。AXXE-L 向け G3 は、これらの提携に基づき構築されており、レノボ・エンタープライズ・ソリューションズより提供された最新鋭のサーバー（Lenovo Thinksystem SR630 他）を、NVIDIA 製 EDR InfiniBand (100Gb/s) 機器で接続し、MC デジタル・リアルティ社の高品質高セキュリティを実現している最新鋭のデータセンターに設置しています。

G3 では、最新鋭のサーバーをこれまで以上に効率良く運用するために、サーバー同士を接続するインターコネクトの増強に重点をおきました。その結果、エクストリーム-D は、G3 のインターコネクトとして、NVIDIA が提供する EDR InfiniBand を採用しました。

今回の G3 のサービス開始にあたって、エクストリーム-D の代表取締役 CEO 兼 HPC IaaS アーキテクトの柴田直樹は次の様に述べています。「この度、弊社にとって3世代目のマネージドスーパーコンピューティング IaaS となる G3 のサービスを開始できたことを大変うれしく思います。MC デジタル・リアルティ、レノボ・エンタープライズ・ソリューションズといった企業との協力なしには、弊社の目標である誰にでも利用可能なスーパーコンピューターの実現は不可能でした。また、今回の G3 では、これまで以上にサーバーを効率良く運用することに重きを置き、NVIDIA が提供するハイパフォーマンス、低レイテンシー、高信頼性に定評のある EDR InfiniBand (100Gb/s) を採用いたしました。これにより、G3 では、これまでの以上の並列演算およびスループットの大幅な性能向上が期待できます」と述べています。

エクストリーム-D の G3 で InfiniBand が採用されたことについて、エヌビディア合同会社 メラノックス・ネットワーク事業本部 事業本部長のトーマス・スコブ・ルナート氏は次のように述べています。「クラウドにおいて演算やデータを多用するアプリケーションを実現するには、最高レベルの相互接続性能が必要となります。InfiniBand の高いデータスループット、極めて低い遅延、そしてアプリケーション・オフロード・エンジンは、エクストリーム-D のプラットフォームと組み合わせることで次世代のユーザー体験とアプリケーションのスケラビリティを実現します。エクストリーム-D の新しい G3 インスタンスは、より幅広い分野でより多くの人々に HPC の恩恵をもたらすことになるでしょう」

今回の G3 インスタンスのサービス開始にあたって、レノボ・エンタープライズ・ソリューションズ合同会社代表取締役社長ジョン・ロボトム氏は「G3 のサービス開始にあたり、基盤を支える重要なコンポーネントとして弊社のサーバーが貢献できることを大変うれしく思います。レノボは HPC Top 500 のベンダー別システムシェアで 35% のシェアを持つ No.1 ベンダーとして、今後もエクストリーム-D 社との緊密な協業を通じて、より多くのお客様に高品質な HPC サービスを提供することに尽力してまいります」と述べています。

また、MC デジタル・リアルティ株式会社 CMO 営業・DC オペレーション担当の伊藤洋平氏は「エクストリーム-D は弊社コロケーションサービスの日本初のお客様です。弊社のデータセンターを利用して、新インスタンスのサービスが開始されたことは、弊社にとっても大きな喜びであり、エクストリーム-D のサービスに有益となるよう、今後も密接な協業体制を続けていきたいと考えています」と述べています。

## エクストリーム-D 株式会社について

2015年に設立。HPCクラウドコンピューティングへのアクセスを簡単、高速、効率的、経済的にすることを目標に設立され、本社は東京都品川区に、米国子会社 (XTREME-D AMERICA Inc.) を米国カリフォルニアにしています。日本発のクラウドスパコン関連のスタートアップとして、ハイパフォーマンスコンピューティング (HPC) およびクラウド技術で 20 年近くの経験を持つ主要メンバーで構成されています。物理マシンによるスーパーコンピューターシェアリングサービス AXXE-L by XTREME-D (旧製品名 : XTREME-Stargate) は、誰でも HPC リソースを利用できるようにし、堅牢な UI / UX およびクラウド管理機能により使いやすいカスタマーエクスペリエンスを提供します。 AXXE-L は最新の開発環境、ミドルウェアを搭載し、最新の CPU、GPU、および相互接続オプションを備えています。提供分野は、機械学習・深層学習をはじめとした AI 分野、データサイエンス分野、製造分野における CAE、ライフサイエンス分野など多岐に応用が可能です。詳細については、<https://xtreme-d.net> をご覧ください。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、エクストリーム-D株式会社の登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。